

社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」～ 大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます ～

地域のつながり 学校園のつながり

◇ 収穫の喜び！ ◇ ～自然の恵み 地域の方に感謝～

地域の方からお借りしている農園では、今年もたくさんのサツマイモを収穫することができました。大きなお芋が顔を出すと夢中になって掘り起こし、笑顔で抱え上げます。地域の方のご厚意によって、毎年、嬉しい体験をすることができます。シチューの具材として給食でも味わいました。また、つるを使ってリースを作るなど、生活科や図画工作科の材料としても活用しています。先日、代表の4年生の子供たちと一緒にお礼のお手紙を添えて収穫したサツマイモを届けました。自然の恵みと地域の方のお気持ちに感謝です。



◇ 楽しく、おいしく、子供たちと ◇ ～ 給食試食会（地域協議会）開催 ～

11月18日に地域協議会を開催し、授業参観と給食試食会を実施しました。試食会では、数年ぶりに委員の皆様が教室に入って食事をしていただくことができました。試食後の皆様の感想には「友達とおしゃべりしながらみんな楽しそうに食べていました」「子供が話しかけてくれて楽しく会食できました」など、給食の「味」以上に、会食の「雰囲気」を感じたご発言が目立ちました。

平成20年に改正された「学校給食法」には給食の目標が7つ設定されていますが、その中の1つに（給食は）「学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと」という一文があります。つまり、子供たちが豊かな学校生活を送り、望ましい人間関係やコミュニケーション力を育むために、給食は重要な役割を担うべきとうたっているのです。委員の皆様が場の雰囲気への印象を強められたということは、栄養の摂取とともに、環境が子供たちの食事に与える影響の大きさを表しているものと思われます。



◇ 災害からまちを守れ！ 地域に密着した活動 ◇ ～3年 消防団出前授業～



11月25日に、社会科の授業で3年生が消防団の方を講師にお招きし、出前授業に取り組みました。これは、消防団に所属していらっしゃる本校の保護者様と連携が図れたことにより実現したものです。

消防団は、火災や地震、風水害などの様々な災害において、救助活動や避難の誘導などに大きな役割を果たしている組織です。また、地域住民への防火活動や広報活動など、地域に密着した活動も展開しています。

団員の方からは、仕事内容や日頃の心構えについての説明とともに、消防自動車についても説明がありました。目の前の消防自動車に子供たちは興味津々です。装備されている機材や用途などについての説明を聞き、実際に触れさせてもいただきました。「24時間、いつでも出動できるように心の準備をしている」ことに子供たちは驚きを感じていました。子供たちにとって、今回の講師の先生は地域にお住まいの方であり、友達のお父さんでもあります。そのような方からの話はいっそう身近に感じるはずです。



学校では、2年生の「町たんけん」や3年生の「スーパーマーケット見学」、高学年の家庭科の授業支援、読み聞かせ等で、地域の方々に施設を見学させていただいたりご指導・ご支援いただいたりしています。こういった活動は子供たちの学校生活を豊かにし、学習の一層の充実につながっています。

近年、学力向上やICTの活用、望ましい人間関係の構築、ネットトラブル・いじめ問題・不登校問題への対応等、学校が抱える課題は多岐にわたり、より複雑、困難化しています。一方で、内閣府世論調査等によると、地域社会においては、子供会・育成会の活動や登下校の安全見守り活動への貢献意識はそれほど高まっては無く、地域社会のつながりや結び付きの希薄化が懸念されています。こういった現状や背景から、地域を担う人材の育成には、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」の必要性が叫ばれているのです。

「地域とともにある学校」の充実度を高めるには、地域の願いを受け止め、地域が求める人材の育成に寄与することが大切であり、授業支援や学校支援にとどまらず、学校運営に対する意見交流等、さらに連携を深めていく必要があります。地域との連携の在り方については、今後も模索しながら進めることとなりますが、先日の地域協議会の折に、コーディネーターさんが、学校支援ボランティアへの参加を呼び掛けてくれたり、今回、3年生の保護者様が出前授業を提案してくださったりしたことは大変ありがたく、意義深いことと感じているところです。

◇ 広がる 挨拶の輪！ ◇ ～地域学校園小中合同あいさつ運動を振り返る～

地域学校園では、小中合同のあいさつ運動を年に2回実施しています。実施に当たってはPTA会長様をはじめ保護者の皆様にもご参加をいただきありがとうございました。先日、ある研修会に参加したとき、中学校の先生が参加した生徒の感想を紹介してくれました。これを読むと、小学生と朝の挨拶を交わすことが中学生にとってもよい刺激になっていることが分かります。また、小学生は、手本となる中学生にあこがれを抱いたり目標にしたりしています。学校種の垣根を越えて、挨拶を通して子供たちのつながりが深められています。

地域学校園あいさつ運動に参加して ー豊南小であいさつ運動に参加した中学生の振り返りからー

- ♠ 2日間の参加でしたが、とても心地よい時間でした。また、小学生たちの明るい挨拶を受けて改めてコミュニケーションの大切さを学びました。
- ♡ あいさつ運動をすると、気持ちよく1日をスタートできることに気がきました。小学生のみんなが「おはようございます！」と元気に挨拶をしてくれたので心が温くなりました。さわやかな挨拶をこれからも続けていきたいです。
- ♣ あいさつ運動をすると、挨拶をした方もされた方もうれしい気持ちになると改めて感じました。挨拶をすることでよい1日を過ごせることに気がきました。声が大きい挨拶やハキハキとした挨拶、さわやかな挨拶をこれからも続けていきたいです。
- ◇ 自分があこがれていた先輩の立場に立って挨拶をして、たくさんの小学生に挨拶を返してもらえてとてもうれしかったです。あまり積極的に挨拶をする方ではなかったのですが、挨拶をすると自分も相手も気持ちよくなることを改めて知りました。またあいさつ運動に参加したいです。
- ♠ 挨拶を返してくれる人がいるとすごくうれしかったです。大きな声で返してくれた子もいたので、私も大きな声で返しました。とても楽しかったのでまた参加したいと思いました。挨拶を通して自分の人との関わりを広げられてよかったです。
- ♡ 小学生に挨拶をしに行くと、みんな挨拶を返してくれてとてもうれしかったです。今後もあいさつ運動をする機会があったらまた行きたいと思いました。
- ♣ 私は今年度2回目のあいさつ運動でしたが、今回もとても楽しかったです。挨拶をした後、元気よく返してくれる子がたくさんいたのでとてもうれしかったです。また、こちらから挨拶をする前に挨拶をしてくれる子もいてとても驚きました。3年生になってももう一度行きたいです。